

(参考) 公営企業会計の見方

公営企業会計では、日々の営業活動に必要な経費【収益的収支】と施設の改良などに必要な経費【資本的収支】に分けて経理することとなっています。

日々の営業活動に必要な経費【収益的収支】で、収入が支出を上回った場合、黒字となり一見すると経営が安定しているように見えます。

この黒字は、民間企業であれば株主への配当等に使われますが、公営企業の場合は、施設の改良などに必要な経費【資本的収支】の不足額を補填する財源として、建設改良費や過去に借り入れた企業債の返済に使われます。

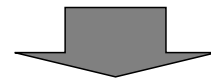
なお、収益的収支で支出が収入を上回り赤字となった場合でも、支出の中には現金支出を伴わない減価償却費等が含まれていますので、直ちに資金不足となるものではありません。

収益的収支と資本的収支の関係をイメージすれば、次のようになります。

【収益的収支】

収入		長期前受金 戻入C
水道料金、発電料金、工業用水道料金等		
支出		純利益 B
人件費、物件費等	減価償却費等 A	
$A + B - C$		

黒字額等が健全経営を維持する財源
(収支不足額)に充てられています。



【資本的収支】

収入	収支不足額
出資金等	
支出	
建設改良費、企業債償還金等	